

『抗菌 (= KOHKIN) という概念』

「世界中で知られる「KAIZEN (=改善)」と同様に、
KOHKIN (=抗菌) は国際共通語として通用する」

菌やウイルス対策が論じられる際、一般に以下の5種類の用語が用いられます。

抗菌 = 細菌の増殖を長時間抑制する

滅菌 = 微生物を完全に死滅させる

殺菌 = 細菌やウイルスなど微生物を死滅させる

消毒 = 病原性のある微生物を殺滅・除去する

除菌 = 限られた空間、物質から微生物を除去する

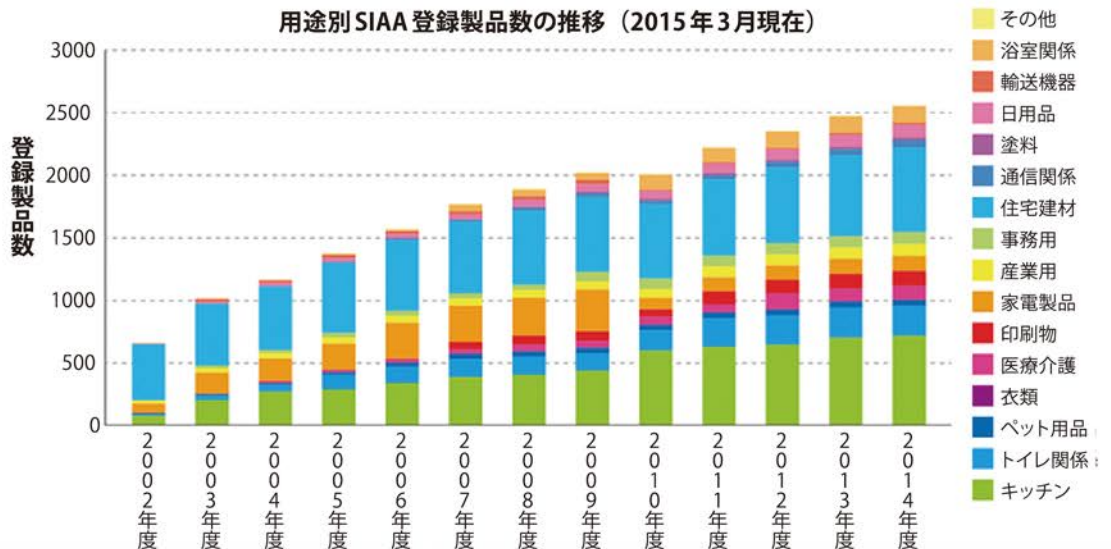
中でも「抗菌」は持続性が期待できる点で他と一線を画す概念と言えます。

90年代の日本で、病原性大腸菌「O-157」騒動が起きました。それ以降、抗菌への関心が急激に高まり、「抗菌グッズ」が相次ぎ発売されます。然し、その中には低効果な商品や模倣品が多数あったため、「抗菌」への信頼性が損なわれていきました。それを受け、民間有志による抗菌製品の認証機関「SIAA (=抗菌製品技術協議会)」が発足、低質な製品や模倣品を区別するようにしました。

SIAAは、抗菌・防カビ関連の加工メーカーや試験機関が集まり、適正で安心できる製品の普及を目的に設立された団体で、その抗菌性評価の試験方法は、国際標準化機構 (ISO) の国際規格として承認されています。消費者が安心して抗菌製品を選べるよう、業界のみならず、消費者の代表、専門家や行政等から幅広い意見を集め、厳格な基準を定め運用しています。その基準に適合した商品には、安心のシンボルとしてSIAAマーク表示が認められます。

当社の抗菌製品「デルフィーノ」も、SIAAの厳格な審査をクリアし、その認証を得ています。

用途別SIAA登録製品数の推移 (2015年3月現在)



文 宮本 貴司 text by Takashi Miyamoto

Profile

株式会社デルフィーノケア 代表取締役

1972年生まれ。日本文理学部卒業。事業会社でITサービス、地域コミュニティーサイトなど新規事業上げを経験後、2015年12月に代表取締役に就任。「感染症ゼロを目指す」のコンセプトのもと、警察、病院、薬局、学校、オフィス等に「まるごと抗菌」を提供しています。